

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備） 事後評価書

平成 28 年 3 月 31 日

計画の名称	1 快適でうるおいのあるまちづくり								
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)	交付対象	福崎町						
計画の目標	生活環境の改善、公共用水域の水質保全及び浸水の防除を目的とし、下水（汚水・雨水）排除に必要な施設の整備を住民の理解を得ながら推進し、望ましい水循環、水環境づくりに努めます。								
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・福崎処理区における下水道処理人口普及率を約98%に引き上げることを目標に整備を進める。 ・下水道による都市浸水対策の達成率を0%(H22)から3%(H26)に増加 								
定量的指標の定義及び算定式	<p>下水道処理人口普及率=処理区域内人口/計画区域人口</p> <p>都市浸水対策を実施すべき区域の面積のうち、概ね7年に1回程度発生する規模の降雨に対して、安全であるよう下水道整備が完了している区域の面積の割合</p> <p>下水道による都市浸水対策達成率 (%) = (概ね7年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全である区域の面積(ha)) / (都市浸水対策を実施すべき区域の面積(ha))</p>								
		定量的指標の現況値及び目標値		備考					
		当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)		最終目標値 (H26末)				
		90%	95%	98%					
		0%	1%	3%					
全体事業費	合計 (A+B+C)	3,028.0百万円	A	2,957.5百万円	B	C	70.5百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	2.0%

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
本町上下水道課内部において実施する。	平成27年度
	公表の方法
	本町ホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	施設種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
1-A1-1	下水道	一般	福崎町	直接	—	汚水	新設	市川左岸第2分区面整備工事 (未普及解消)	汚水管 φ150mm A=29ha	福崎町						288.9	
1-A1-2	下水道	一般	福崎町	直接	—	汚水	新設	市川左岸第2-1分区面整備工事 (未普及解消)	汚水管 φ150mm A=54.2ha	福崎町						717.6	
1-A1-3	下水道	一般	福崎町	直接	—	汚水	新設	田原汚水中継ポンプ場 (未普及解消)	建設工事(建設・機械・電気設備) 1式	福崎町						211.5	
1-A1-4	下水道	一般	福崎町	直接	—	汚水	新設	田原汚水中継ポンプ場 (未普及解消)	外構工事 1式	福崎町						5.0	
1-A1-5	下水道	一般	福崎町	間接	—	汚水	増設	福崎浄化センター建設工事 (水質保全)	水処理施設 (機械・電気設備) 1式	福崎町						838.0	
1-A1-6	下水道	一般	福崎町	直接	—	雨水	新設	市川排水区 (浸水対策)	幹線渠工事 L=5,450m	福崎町						328.5	
1-A1-7	下水道	一般	福崎町	直接	—	汚水	増設	福崎浄化センター建設工事 (水質保全)	汚泥処理施設 1式	福崎町						250.2	
1-A1-8	下水道	一般	福崎町	直接	—	汚水	新設	市川右岸第2分区面整備工事 (未普及解消)	汚水管 φ300mm A=120ha	福崎町						317.8	
											小計 (下水道事業)			2,957.5			
											合計			2,957.5			
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
											合計						

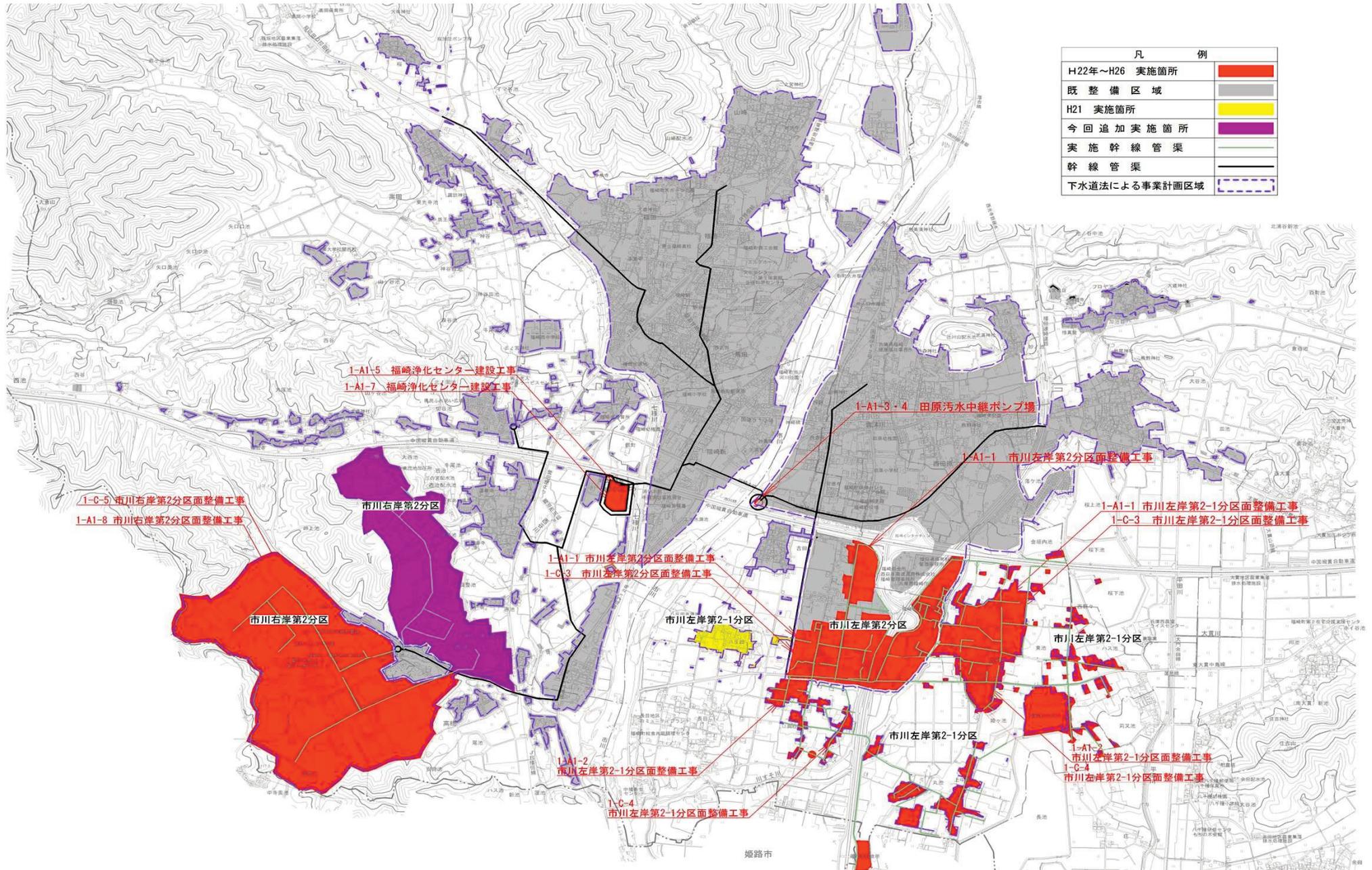
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考					
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
1-C1-1	下水道	一般	福崎町	直接	—	ハザードマップ	ハザードマップ作成	市川流域におけるハザードマップの作成	福崎町						0.0	
1-C1-2	下水道	一般	福崎町	直接	—	活動支援	防災訓練実施支援	防災訓練実施用の備品購入	福崎町						4.0	
1-C1-3	下水道	一般	福崎町	直接	—	新設	市川左岸第2分区面整備工事(未普及解消)	枝管管渠の整備 A=1.5ha	福崎町						20.8	
1-C1-4	下水道	一般	福崎町	直接	—	新設	市川左岸第2-1分区面整備工事(未普及解消)	枝管管渠の整備 A=3.2ha	福崎町						45.7	
1-C1-5	下水道	一般	福崎町	直接	—	新設	市川右岸第2分区面整備工事(未普及解消)	枝管管渠の整備 A=1.0ha	福崎町						0.0	
										合計					70.5	
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考					
1-C1-1	ハザードマップの公表により、災害時における住民の適切な対応を促し、浸水被害の軽減を図る。															
1-C1-2	災害発生時の避難行動を訓練するとともに、内水対策に関する啓発・訓練を行い、災害発生時における被害の軽減を図る。															
1-C1-3	基幹事業(1-A1-1)と接続する污水管渠(末端)を一体的に整備することで、下水道未整備地区の早期普及促進を図る。															
1-C1-4	基幹事業(1-A1-2)と接続する污水管渠(末端)を一体的に整備することで、下水道未整備地区の早期普及促進を図る。															
1-C1-5	基幹事業(1-A1-8)と接続する污水管渠(末端)を一体的に整備することで、下水道未整備地区の早期普及促進を図る。															

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 効率的な污水管渠整備の促進に努め、下水道未整備地区の早期普及促進が図れたことにより、下水道処理人口普及率100%完了となった。 下水道による都市浸水対策達成率を0% (H22) から3% (H26) に増加させたことで、浸水被害の低減に繋がった。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①(下水道 処理人口普及 率)	最終目標値	98%	目標値と実績値 に差が出た要因	<ul style="list-style-type: none"> 効率的な事業進捗に努め、下水道人口普及率100%達成となった。
		最終実績値	100%		
	指標②(下水道 都市浸水対策達 成率)	最終目標値	3%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	3%		
		最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> 浸水対策を優先し事業を進めたため、ハザードマップの整備を次計画へ変更した。 			
3. 特記事項(今後の方針等)					
<ul style="list-style-type: none"> 下水道処理人口普及率は100%を達成したが、今後は非居住区の福崎工業団地の污水管整備促進を図り、面整備率100%を目指す。 継続して雨水管線等の整備を進めることにより、浸水被害の低減を図る。 					

(参考図面) 水の安全・安心基盤整備

計画の名称	1 快適でおいしいのあるまちづくり	交付対象	福崎町 1/2	汚水整備
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)			



凡 例	
H22年~H26 実施箇所	
既 整 備 区 域	
H21 実施箇所	
今回追加実施箇所	
実施幹線管渠	
幹線管渠	
下水道法による事業計画区域	

(参考図面) 水の安全・安心基盤整備

計画の名称	1 快適でうるおいのあるまちづくり	交付対象	福崎町 2/2 雨水整備
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)		

